住みよい福祉のまちづくり

第46号

社協あんなか

この機関紙は共同募金の配分金によって発行されます。

平成26年12月20日発行



生涯学習・腕自慢大会開催

…もくじ…

（2）地域の話題
（3）平成26年度群馬県社会福祉大会開催他
（4）市内社会福祉施設等紹介
（5）日常生活自立支援事業
（6）安中市社協新評議員紹介他
（7）サロン・ボラセン通信他
（8）災害ボランティア養成講座参加者募集他

11月16日（日）、第40回生涯学習腕自慢大会が九十九小学校体育館で開催されました。

午前中は創作館で農産物即売、九十九小産のお米を5年生が販売し完売となりました。地元のそばうちグループによる手打ちそば、もちつき大会のからみ、黄粉、あんこの試食会でにぎわいました。体育館内では、書道、生け花、九十九小児童の絵画などが展示され、12時より開会式が行われ功労者3名に感謝状が進呈されました。保育園児の歌、九十九小の合奏、東中学校の演奏など各団体の支援でにぎやかにステージ発表が行われました。

地域の話題

情報は
社協事務局へ

安中本所　TEL　３８２－８３９７
松井田支所　TEL　３９３－３９４８

福祉体験学習
磯部小学校で実施

10月24日（金）、磯部小学校6年生は総合学習「みんなにやさしい社会にしたい」を目的に福祉体験学習を行いました。

先生の挨拶が終わると児童たちは3名ずつ分れ早速体験にうつり、お年寄りが日常生活でどんな不自由をしているかを体に特殊器具をつけ体験していました。

一方校庭では車椅子に乗る人、押す人と交代しながら体験しました。ある児童は「うちにもおばあちゃんがいる、もっと優しくしてやりたい」と語っていました。なお、指導は福祉体験学習サポーターの方々でした。　（田村）



真剣に取り組む児童



楽しむ家族連れ

新鮮・おいしいもの大集合！
活気、人との出会い、温かさ

11月23日（日）秋空の下、安中市産業祭実行委員会主催による「安中城址にぎわい朝市」が大名小路通りで、にぎやかに開催されました。

東北地方の震災復興と地域住民への買い物支援を兼ねたこの朝市では、石巻市と八戸市の水産加工会社から鮮度抜群の海産物や、地元商店から地場産の新鮮野菜や、それを使った手料理品が多数出店されました。被災された方々への支援として人との出会いを通じ心温まる朝市となり、大勢の買い物客で地域の活性化にもつながりました。　（吉田寿）

地域住民が１年の成果を展示
磯部公民館で実施

磯部地区生涯学習推進委員会主催の文化祭が11月29日（土）から3日間、磯部公民館で開かれました。社協磯部支部役員の協力で作設した会場には14部門、338点の作品が展示されました。

生花といそべこども園の園児の作品が展示された1階会場では、来場者が鮮やかな出来栄えに見入っていました。2階の会場には、磯部小児童の作品など12部門の作品が展示されて、日ごろ、地域住民が緩みなく学んでいる姿を見せました。文化祭は毎年この時期に開かれていて、今年は園児から高齢者までの226名が出展して大勢の来場者を楽しませました。
（猿谷）



会場の様子

平成26年度群馬県社会福祉大会開催



ステージの様子



パネル展示

11月10日（月）、前橋市民文化会館大ホールにおいて、平成26年度群馬県社会福祉大会が開催されました。

本大会では、「未来へつなぐ助け合いの仕組み」をテーマに掲げていました。また、米良美一講師（歌手）が「生きながら生まれ変わる」と題し記念講演をされました。

永年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々の表彰などが行われ、最後に福祉ボランティア顕彰受賞校による活動状況発表がありました。また、福祉ボランティア顕彰表彰を受けた市内団体の活動紹介をするパネル展示もありました。

市内で表彰された方々は右記のとおりです。おめでとうございます。

（事務局）

福祉ボランティア顕彰表彰

碓東親和会
松井田Ｖ．Ｙ．Ｓ

県社会福祉協議会会長表彰

内田美和子　内田桃代　金井一代
小板橋滋子　佐藤泰民　鈴木　禎
髙橋敏子　田村　隆　三澤美津子
山崎陽子　吉田幸治　亀倉富士夫
村山快雅　阪本光治　猿谷智子
花岡紘一
安中市社会福祉協議会磯部支部

（順不同・敬称略）

特別賛助会員紹介（敬称略）

社協あんなか45号で、平成26年度社協特別賛助会費の報告をいたしましたが、その後新たに会費の納入がありましたのでご紹介いたします。誠にありがとうございます。

一口

〈安中地区〉　安中市国際交流協会
〈松井田地区〉　（株）三文字屋　シマダ商会（有）
〈細野地区〉　まついだ森の家

第26回 市内社会福祉施設等紹介

施設名　住宅型有料老人ホーム
　　ナーシングホームあい誉（ほまれ）
所在地　安中市板鼻150−1
定　員　36名（個室36室）
連絡先　027-329-5000　　**設　立**　平成26年7月



概　要

ナーシングホームあい誉は、普通の食事ができない重度の意識障害を持つ、医療依存度の高い要介護レベルが4から最も高い5の方の為の、病院に代わる全国でも数少ない住宅型の施設です。従って、食事に代わる栄養を管を通しての経管栄養と点滴や中心静脈栄養が入居要件となっています。また、併設事業として居宅介護支援、訪問介護、訪問看護も運営されています。場所は高崎市からは最も近い板鼻の国道18号線沿いにある、建物はとてもシックで上品な外観造りです。案内されたホールは、開放感豊かな吹き抜けの天窓と青空をイメージしたブルーの色彩で目を奪われ、天窓からは暖かそうな自然光が差し込み、入居利用者にとって何より癒されるとの印象を感じました。



事務所　（右側が施設長）



明るい室内

施設長の多田出さんと訪問看護ステーションの管理者の高杉さんへ同時にお話を伺いました。

まず、現在の入居者は22名で県外からの入居者もいるとのこと。

『施設の基本理念では、利用者一人ひとりの、その人らしさと今までの生き方を尊重、病状や障害に応じた最適なケアを心がけている。また、職場では技術とサービス向上に職場研修を積極的に実施し、共に尊重しあいながら向上できる人材育成に力をそそいでいる。』と多田出さんは穏やかに熱く語られました。

また、施設スタッフの半数が看護師でもあり24時間の常駐、全ベットには意識障害等を感知する全国でも少ないバイタル感知センサーが設置されており緊急時に素早く全スタッフが対応。停電時には自家発電装置も備えており、停電時の酸素吸入、痰吸引等の医療処置が完備。他に、ストレッチャーを使用しての介護浴室や様々な緊急通報装置も常設。そして、24時間病院と連携できる医療体制や定期往診も完璧ということでした。

今回の取材を通して感じたことは、今、急速な高齢化社会に対応できる高度な医療ケアが病院側だけでは難しくなってきたことを痛切に感じ、その受け皿的な福祉施設が安中市に誕生したことを誇りに思いました。　（三井田）

日常生活自立支援事業

～福祉サービスの利用や金銭管理に不安になった方を支援します～

主なサービス内容

毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

・福祉サービス利用料金の支払い代行
・病院への医療費の支払い手続き
・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
・公共料金（電気、ガス、水道等）の支払いの手続き
・日用品購入の代金支払い手続き

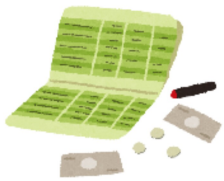


福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いします。

・福祉サービスの利用に関する情報提供や相談
・福祉サービスの利用における申込み契約の代行
・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの支援

大切な通帳や印鑑、証書などをお預かりします。

・保管を希望される通帳や印鑑、証書などをお預かりします。
＊保管できるものとしては年金証書、証書（保険証書、不動産権利書、契約書など）、預金通帳、実印、銀行印。
＊宝石、書画、骨董品、貴金属類や有価証券などはお預かりできません。



利用者の方が安心して社会生活が送れるよう、担当者（専門員や生活支援員）が定期的に訪問し生活費を届けたり、生活の相談を聞くなどして生活をサポートします。

利用対象者と料金について

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な方が対象になっています。なお、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳を持っていたり、認知症の診断を受けている方に限られるものではありません。相談や支援計画作成は無料です。支援にかかる時間により料金が変わってきます。また利用される方の所得により利用料の助成があります。

【お問い合わせ】
安中市社会福祉協議会
安 中 本 所　安中市安中3 - 19 - 27　　電話３８２－８３９７
松井田支所　安中市松井田町新堀245　電話３９３－３９４８

安中市社協新評議員紹介

任　期　平成26年11月26日～
平成27年5月31日迄

(敬称略)

役　職	氏　　名	所 属 団 体
評 議 員	中島　　秀夫	安中市区長会
評 議 員	髙橋　　好一	安中市医師会
評 議 員	小板橋　秀雄	碓氷安中農業協同組合

住民参加型福祉サービス運営協議会委員紹介

任　期　平成26年7月28日～
平成27年3月31日迄

(敬称略)

役　職	氏　　名	選 出 区 分
委　　員	市川　　益也	社会福祉団体関係者

公的な福祉制度では、対応が困難なことに対して、地域住民が主体となって有償ボランティアとして助けあい、支え合うサービス『きずな』を実施しています。

「高齢のため、お風呂掃除ができない。」「一人暮らしで話し相手がいなくて寂しい。」「スーパーが遠くて買い物にいけない。」などの困ったことに対してボランティアが支えることによって自立生活を支援しています。そのようなサービスをより良くするために住民参加型福祉サービス運営協議会委員は、活動しています。



※ボランティア（提供する方）も随時登録募集しています。

寄付者の紹介（敬称略・順不同）

平成２６年１０月１日～１１月３０日

・社会福祉を支援する「康友会」　・安中市芸能協会
・群馬県信用組合　・福祉ふれあいまつり実行委員会

＊東日本大震災義援金は除く

あたたかいご協力ありがとうございました

ふくしの豆知識　～より良いまちにするために福祉を知ろう～

福祉に関する疑問や知りたい福祉用語等を市民の皆様から募集しています。ご意見がありましたら当会までご連絡ください。

「機械浴」って何？

機械浴は、「特浴」とも呼ばれ、専用の機械浴用浴槽を利用した入浴方法をいいます。これは、身体の麻痺や拘縮が強く、立ったり座ったりが困難な方などを対象に、専用の車椅子（リフト）に乗ったまま入浴できるタイプや、ストレッチャーに寝たままで入浴できるタイプなどがあります。一般に機械浴用浴槽は、特別養護老人ホームや身体障害者施設などに設置され、身体の状態に応じた様々な機種が開発されています。

サ　ロ　ン　通　信

サ　ロ　ン　紹　介
「ふれあい・いきいきサロン研修会」

少子高齢化・核家族化が進む中で、高齢者等が気軽に楽しく集うサロン活動が進められていますが、11月27日（木）、高崎市文化会館大ホールで、平成26年度西部ブロックの「ふれあい・いきいきサロン研修会」が、540名の参加により開催されました。

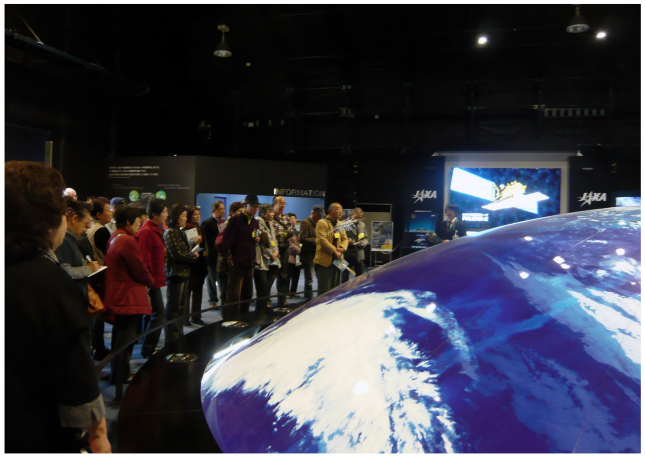
箕郷町と藤岡市のサロンの実践事例発表では、活動の様子や今後の課題を知ることができました。また、経験豊かな講師によるレクリエーション研修もあり、数字や漢字を使う脳トレで会場は盛り上がり、ゲームをしながら人とのコミュニケーションを図るという体験ができました。　（小板橋）



盛り上がる会場

ボ　ラ　ン　テ　ィ　ア　セ　ン　タ　ー　通　信

ボ連協役員視察研修会
ボランティア連絡協議会



ガイドの説明を聞く参加者

11月14日（金）、ボランティア連絡協議会視察研修会が32名の参加で行われました。

目的地は筑波宇宙センターで、正面近くに全長50ｍのH2ロケットの実物が展示してあり、一歩建物の中に入ると、100万分の1のスケールの地球が出迎えてくれました。係員の説明で様々な人工衛星を見、宇宙船「きぼう」の船内実験室では、狭い空間を体験し、無重力の中で誤りなく作業ができるよう、数多くのスイッチの横には個々に釘があり、カバーの役目をしている事、宇宙服が約120kgで8時間ほど宇宙空間で活動できる事、基礎訓練・健康管理施設等見学し、宇宙への夢を膨らませて、充実した1日でした。　（彡胡）

ペットボトルキャップ回収時のお願い

ボランティアセンターでは、収集ボランティアのご協力をお願いしています。その中でも一番多くご協力をいただいているのが「ペットボトルキャップ」です。毎日のようにごみとして出るペットボトルキャップですが、実はこれを集めると、世界の子供たちにワクチンが届けられます。

平成26年4月から11月までで約810kgのご協力をしていただきました。持ってきていただく際に、汚れを落としてシールをはがしてください。今後もご協力をお願いいたします。



悪い例（汚れている）



良い例（軽く濯ぎシールをはがす）

【問い合わせ】安中市ボランティアセンター

安中本所　電話　３８２－８３９７
松井田支所　電話　３９３－３９４８

災害ボランティア養成講座受講者募集
～災害に強いまちを目指して～

安中市の「もしも」のときに備えて災害ボランティアの知識と技術を学びませんか？
多くの人が災害の知識をもっていれば、「あんしんなまち」になります。ぜひ受講してください。

【日　　時】　平成27年2月25日（水）　9:30～15:40（講義と演習があります）
【会　　場】　安中市文化センター　　住所：安中市安中3-9-63
【募集人数及び持ち物】　30名　　エプロン、タオル2枚（長方形）、ビニール袋
【募　集　期　間】　平成27年1月14日（水）から開始で定員になり次第終了
【申込及びお問い合わせ】　安中市社会福祉協議会　安中本所　電話：３８２－８３９７
松井田支所　電話：３９３－３９４８

日常生活自立支援事業
生活支援員養成講座受講者募集

認知症や障がいを持った方で福祉サービスの利用や金銭管理などが不安になった方を支援する生活支援員を養成する講座を実施します。（Ｐ５に事業の紹介があります）

【日　　時】　平成27年2月9日（月）9:30～15:50　　2月10日（火）10:00～15:50
【会　　場】　安中市地域福祉支援センター３階会議室（安中3-19-27）
安中市役所松井田支所２階基幹集落センター営農指導室（新堀245）
【募集人数及び要件】　15名程度（①～③の要件を満たすもの）
①市内在住の人　　②全課程出席できる人
③養成講座終了後に生活支援員として、週１、２回程度活動できる人
【申込期間、手続き】　平成27年1月5日（月）～16日（金）の期間に下記まで指定された申込書（必ず受講希望者が提出）を提出してください。その際に、面接を実施し受講者を決定します。申込書はホームページからダウンロードできます。
【申込及びお問い合わせ】　安中市社会福祉協議会　安中本所　電話：３８２－８３９７
松井田支所　電話：３９３－３９４８

心配ごと相談について（1月・2月）

（安中本所）と　き：毎週木曜日　9:00～11:30（祝祭日を除く）
１月　８・１５・２２・２９　　２月　５・１２・１９・２６
ところ：安中市地域福祉支援センター　１Ｆ
（松井田支所）と　き：毎週月曜日 13:30～16:00（祝祭日を除く）
１月　５・１９・２６　　２月　２・９・１６・２３
ところ：安中市役所松井田庁舎　２F第９会議室

編集・発行　社会福祉法人安中市社会福祉協議会　http://www.annakashakyo.com/
安中本所　安中市安中3-19-27　安中市地域福祉支援センター内　℡382-8397
松井田支所　安中市松井田町新堀245　安中市役所松井田庁舎内　℡393-3948